

土地改良事業計画書

県営越路原地区

農業用排水施設整備 (かんがい排水「集積型」)事業

目 次

第1章 目的	1
第2章 地域及び地積	2
第1節 地 域	2
第2節 地 積	2
第3章 現況	3
第1節 気象及び海象	3
1 一般気象	3
2 特殊気象	4
3 海象	4
第2節 土地状況	5
1 地形、土壌及び侵食の程度	5
2 土地分類	5
3 土地利用の状況	6
4 土地所有の状況	6
第3節 水利状況	7
1 用水状況	7
2 排水状況	9
3 河川状況	9
第4節 道路概況	9
第5節 地域農業の概況	10
1 産業別就業人口	10
2 経営耕地広狭別経営体数及び耕地の分散状況並びに農業経営体数	10
3 動力農機具及び主要家畜頭数	10
4 主要作物作付状況	11
5 農業の動向	11
第6節 地域環境の概況	12
第4章 一般計画	13
第1節 事業計画の要旨	13
1 要旨	13
2 事業別面積	13

第2節	営農計画及び土地利用計画	13
1	営農計画の概要	13
2	土地利用区分	14
3	作付方式	14
4	生産計画	15
5	労働改善計画	15
6	級地別土地利用区分	16
7	土地配分計画	16
第3節	用水計画	17
1	計画基準年	17
2	計画かんがい方式	17
3	計画用水系統	17
4	計画用水量	18
5	水源計画	18
第4節	排水計画	19
第5節	道路計画	19
第6節	農用地造成計画	19
第7節	洪水調節計画	20
第8節	干拓計画	20
第9節	農用地整備計画	20
第10節	老朽ため池改修計画	20
第5章	主要工事計画	21
第1節	用水施設	21
1	貯水池	21
2	頭首工	21
3	揚水機	21
4	用水路	21
5	その他かんがい施設	21
第2節	排水施設	22
第3節	道路及び索道	22
第4節	農用地造成	22
第5節	洪水調節施設	22
第6節	干拓施設	22
第7節	農用地整備施設	22
第8節	老朽ため池改修施設	22

第6章	附帯工事計画	-----	23
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	-----	23
第8章	環境と調和への配慮	-----	23
第9章	換地計画の概要	-----	23
第10章	事業費の総額及び内訳	-----	24
第11章	効用	-----	25
第12章	関連する事業	-----	25
第13章	現況・計画図面	-----	25

第1章 目的

本地区は長岡市と小千谷市にわたる丘陵地で、水稻を基軸としながら酒造好適米、夏そばなどの土地利用型農業を営む地域である。

整備を行う越路原第1揚水機場は、昭和41年に県営用排水改良事業により造成された施設で、取水源である洪海川から丘陵地にある吐出水槽まで揚水を行っており、揚程152mと県内でも有数の高揚程ポンプを有する揚水機場である。

また、越路原第1揚水機場で揚水した水の一部は、昭和43年に団体営越路原農地造成事業により造成された越路原第2揚水機場で、圧送している。

これまで、両機場とも県営事業等を活用し、適切に整備補修を実施しているが、造成から50年以上が経過し、老朽化により漏水やポンプの運転停止が発生しており、安定した用水供給に支障を来している。また、維持管理費の増加及び高頻度の点検整備により、農地集積が進まない状況となっている。

そのため、補修・更新が必要なポンプ及び付帯施設の整備を行い、安定した用水供給と維持管理費の節減を図ることで、効率的な営農を実現し、担い手への農地集積を促進することを目的とする。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
農業用排水施設整備	新潟県長岡市飯塚、岩田、東谷 小千谷市片貝町

第2節 地積

(R7年3月現在) (第2表)

事業名	現況地目	田	畑	原野	山林	その他	計	備考
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農業用排水 施設整備	長岡市	143.5	—	—	—	—	143.5	
	小千谷市	41.5	—	—	—	—	41.5	
合 計		185.0	—	—	—	—	185.0	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	長岡観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	1953年～2024年	5月～8月	9月～4月		
平 均 気 温 (°C)		23.2	9.6	14.2	気象庁HP (長岡観測所) 2015年～2024年
降 水 量	平 均 (mm)	561.1	1,760.5	2,321.6	気象庁HP (長岡観測所) 2015年～2024年
	基準年 (mm)	767.0	1,284.0	2,051.0	県営越路原地区農業用排水施設整備 (かんがい排水「集積型」) 事業 (平成27年～平成30年) に準ずる。
降水日数	平 均 (日)	71.0	125.0	196.0	気象庁HP (長岡観測所) 2015年～2024年
	基準年 (日)	49.0	154.0	203.0	県営越路原地区農業用排水施設整備 (かんがい排水「集積型」) 事業 (平成27年～平成30年) に準ずる。
根 雪 期 間		1月9日 ～ 2月19日		42日間	気象庁HP (新潟観測所) 1991年～2020年
無 霜 期 間		4月1日 ～ 11月26日		240日間	気象庁HP (新潟観測所) 1991年～2020年
最 多 風 向		南南西	最大風速 (風 向)	23m/s (西)	最多風向発生時期 : 1月～4月 最大風速発生年月日 : 1979年3月31日 気象庁HP (長岡観測所) 1976年～2024年

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
長岡観測所																
観測期間	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
1953年～2024年																
最大日雨量 (mm)	261.0	1961.8.20	1/500	225.0	2004.7.13	1/200	213.0	1995.8.10	1/100	191.0	1978.6.26	1/50	137.0	2011.7.30	1/10	水文統計資料 第14版(R3.8) 気象庁HP(長岡 観測所)
最大時間雨量 (mm)	69.0	2024.8.25	—	65.5	2008.9.6	—	55.0	2011.7.30	—	48.5	2012.9.6	—	48.0	2007.8.20	—	気象庁HP(長岡 観測所)
最大4時間雨量 (mm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
最大連続雨量 (mm)	806.0	1963	1/100	619.0	1980	1/20	617.0	1971	1/20	616.8	1956	1/20	615.0	2022	1/20	水文統計資料 第14版(R3.8) 気象庁HP(長岡 観測所)
最大連続干天日数 (日)	46	1994	1/500	36	1973	1/100	35	1978 2005 2023	1/100	34	1977 2001	1/100	32	1975 1976 1983	1/50	水文統計資料 第14版(R3.8) 気象庁HP(長岡 観測所)

3. 海象

該当なし

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

本地区は長岡市の南東部並びに小千谷市の北西部に位置する丘陵地であり、標高215mの南端から75mの北端までなだらかに傾斜した地形である。

(1) 地形

(第4表ー1ー1)

事業名	地目	田						畑・その他						受益地標高(m)		備考
	傾斜区分	1/1,000未満	1/1,000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°未満	3°～8°	8°～15°	15°～20°	20°以上	計	最高	最低	
農業施設整備排水	面積 (ha)	—	—	185.0	—	—	185.0	—	—	—	—	—	—	215	75	
	比率 (%)	—	—	100	—	—	100	—	—	—	—	—	—			

(2) 土壌

該当なし

(3) 侵食の程度

該当なし

2. 土地分類

該当なし

3. 土地利用の状況

(R 7 年 3 月現在) (第 4 表一 3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山林		採草 放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農業用排水 施設整備	長岡市	143.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	143.5	
	小千谷市	41.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	41.5	
合計		185.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	185.0	

4. 土地所有の状況

(R 7 年 3 月現在) (第 4 表一 4)

事業名	所有別 区分	個人有		土地改良区有	市町村有	国・県有	計	備 考
農業用排水施設 整備	面積 (ha)	171.2	13.8	—	—	—	185.0	
	受益者数 (人)	363	23	—	—	—	386	
	筆数 (筆)	1,265	96	—	—	—	1,361	
	権利関係	所有権	使用賃 借権	—	—	—		
	備考 (関係戸数)	363	23	—	—	—	386	

第3節 水利状況

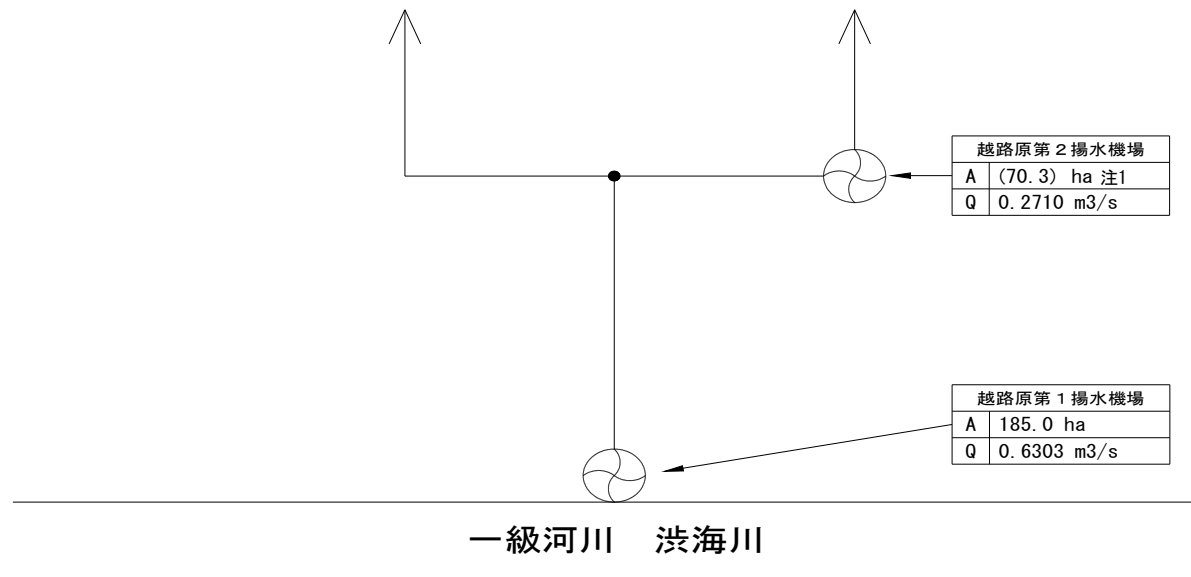
1. 用水状況

一級河川洪海川から取水し越路原第1揚水機場で丘陵地まで揚水することで、かんがいしている。また、越路原第2揚水機場で揚水の一部を更に圧送している。

(1) 用水系統

現況用水系統模式図のとおり。

現況用水系統模式図



凡例

施設名称	
A	受益面積 (ha)
Q	所要水量 (m³/s)

注1 受益面積 () は内数を示す。

(2) 用水施設
(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項 目 施設名	か ん が い 面 積						計		許可水利権		慣行水利権等		延 べ 取水量	備 考
		500ha以上		500～100ha		100ha未満									
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	m ³ /s	
農業 施設 整備 排水	越路原第1 揚水機場	—	—	1	185.0	—	—	1	185.0	1	0.6303	—	—	0.6303	
	越路原第2 揚水機場	—	—	—	—	1	(70.3)	1	(70.3)	—	—	—	—	—	
合 計		—	—	1	185.0	1	(70.3)	2	185.0	1	0.6303	—	—	0.6303	

※受益面積()は内数を示す。

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項 目	施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年度 又は 更新年度	改修を必要とする理由	備 考
	施設名							
農業 施設 整備 排水	揚水機場	越路原第1 揚水機場	185.0	鉄筋コンクリート造	多段式両吸込渦巻 ポンプφ500/400mm ×2台	1966年	老朽化の ため	
		越路原第2 揚水機場	(70.3)	鉄筋コンクリート造	両吸込渦巻ポンプ φ400/300mm×1台	1968年	老朽化の ため	
	合 計	2	185.0					

※受益面積()は内数を示す。

(3) 用水に関する被害状況

該当なし

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

該当なし

2. 排水状況

該当なし

3. 河川状況

該当なし

第4節 道路概況

該当なし

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(R2年 国勢調査) (第7表-1)

項目 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱、採 石、砂利 採取業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス 水道 熱供給業 (人)	運輸通 信業 (人)	卸売 小売業 (人)	金融 保険業 (人)	不動産 物品賃貸 業 (人)	サービス 業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考
長岡市	137,379	4,467	53	154	250	12,268	29,798	883	8,621	23,018	3,194	1,667	49,056	3,950	-	
小千谷市	18,097	1,011	10	108	26	1,731	5,304	132	771	2,500	245	110	5,614	535	-	
計	155,476	5,478	63	262	276	13,999	35,102	1,015	9,392	25,518	3,439	1,777	54,670	4,485	-	
比率(%)	100	3.5	0.0	0.2	0.2	9.0	22.6	0.7	6.0	16.4	2.2	1.1	35.2	2.9	-	

2. 経営耕地広狭別経営体数及び耕地の分散状況並びに農業経営体数

(R2年 農林業センサス) (第7表-2)

区分 市町村名	(経営 体数)	経営耕地広狭別経営体数 (経営体)										1経営体当たり平均農用地面積 (ha)						耕地の分散状況		農業経営体数 (経営体)			備考
		適用 例外 ものを 規定 受け の	0.3 ～	0.5 ～	1.0 ～	1.5 ～	2.0 ～	3.0 ～	5.0 ～	10.0 ～	20.0 ha 以上	田	畑	樹園 地	小計	草地	計	当一 地 営 団 体	り 団 地 当 た り 面 積 (ha)	営 個 人 経 体	人 体 (法 営 体)	人 体 (非 法 営 体)	
			0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0													
長岡市	3,795	137	416	809	515	398	525	414	289	159	133	3.57	0.12	0.00	3.69	0.01	3.70	－	－	3,596	139	60	
小千谷市	1,152	12	132	347	204	116	138	101	67	23	12	1.99	0.18	0.00	2.17	0.03	2.20	－	－	1,127	14	11	
計	4,947	149	548	1,156	719	514	663	515	356	182	145	5.56	0.30	0.00	5.86	0.04	5.90	－	－	4,723	153	71	
比率(%)	100	3.0	11.1	23.4	14.5	10.4	13.4	10.4	7.2	3.7	2.9	94.2	5.1	0.0	99.3	0.7	100	－	－	95.5	3.1	1.4	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(R2年 農林業センサス) (第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具								主要家畜								備考
	耕うん機		トラクター		動力田植機		コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		
	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (100羽)	経営体数 (経営体)	
長岡市	-	-	-	-	-	-	-	-	434	13	1,078	23	x	2	-	-	
小千谷市	-	-	-	-	-	-	-	-	x	2	x	5	-	-	-	-	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	x	15	x	28	x	2	-	-	
100経営体あたり数量 (台・頭)	-		-		-		-		x		x		x		-		
利用経営体割合（％）	-		-		-		-		0.30		0.57		0.04		-		

4. 主要作物作付状況

(R 4～5年、R 5～6年 北陸農林水産統計年報)(第7表-4)

市町村名			長岡市		小千谷市		計	平均	作付率 (%)	備考
総耕地面積(ha)			18,000		3,260		21,260			
総本地面積(ha)			17,210		3,048		20,258			
区分			作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当 たり収量 (kg/10a)		
作物名										
田	表作	水稻	12,300	500	2,080	517	14,380	502	92.5	令和5年 データで 統一
	表作	大豆	898	179	1	67	899	179	5.8	
	表作	夏そば	70	29	192	53	262	47	1.7	
	小 計		13,268		2,273		15,541		100	
畑	春夏作									
	秋冬作									
	小 計									
樹園地										
	小 計									
計			13,268		2,273		15,541		100	
市町村別延べ作付率(%)			85.4		14.6		100			

5. 農業の動向

(H22年～R 2年 農林業センサス)(第7表-5)

項目 区分	経 営 体			土 地			主要作物			大 家 畜			動力農機具			地域指定等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変化の状況 (C年を100とする指数)	農業経営体	80	59	耕地	97	89	水稻	X	X	乳用牛	81	X	耕うん機	-	-	農業振興地域 (指定) 長岡市 H24.10.19 小千谷市 S45.3.31 (認可) 長岡市 H24.12.7 小千谷市 S46.2.26	A: R 2年 B: H27年 C: H22年
	個人経営体	79	58	田	98	91	イモ類	71	62	肉用牛	X	X	トラクター	80	-		
	団体経営体数 (法人数)	136	130	畑	85	72	豆類	X	X	豚	X	X	コンバイン	77	-		
	団体経営体数 (非法人数)	81	63	樹園地	48	37	野菜類	96	X	採卵鶏	-	-	動力田植機	77	-		
	農業従事者数	71	48														
変化の理由	農業情勢の変化			農業情勢の変化			農業政策の変化 食生活の変化			食生活の変化			農業経営形態の変化 機械の大型化				

第6節 地域環境の概況

1. 植物・動物等生態系の概況

越路地域では植生はユリ科の球根植物のカタクリが山地の林内に群生している。動物では哺乳類（ホンドタヌキ等）、鳥類（山地を中心に生息する小鳥類やワシタカ類）、爬虫類（カナヘビ等）、魚類（ウグイ等）、貝類（オオタニシ等）、昆虫類（ホタル等）などの生息が確認されている。

2. その他、地域環境の概況

越路地域では、「長岡市景観アクションプラン」で「ホタルの舞う水辺空間」や「もみじ園の紅葉」が特色として挙げられており、「多様な地域資源を活かした、豊かな自然環境と共生する景観まちづくり」を景観形成方針としている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

越路原第1揚水機場及び越路原第2揚水機場は昭和41年県営用排水改良工事及び昭和43年団体営越路原農地造成事業により造成された。当該施設の受益面積は185.0haで越路原土地改良区の地区面積242.0haの約8割に寄与している。しかし、造成から50年以上経過しており、各機器に故障や劣化が顕在化し、保守限界を迎えているものもある。それに伴い維持管理の修繕費が嵩み、受益者への負担が生じていることから、両揚水機場の整備補修を実施し、維持管理費の低減及び安定した農業用用水の供給を図る。

2. 事業別面積

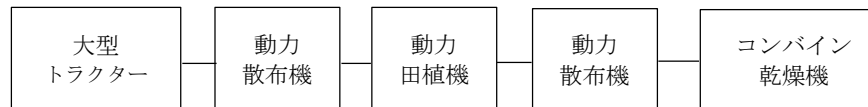
(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	農業用排水施設整備						計 (ha)	備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	...	小計 (ha)		
揚水機場整備補修	185.0	—	—	—		185.0	185.0	
計	185.0	—	—	—		185.0	185.0	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

- a) 経営方式 水稻＋酒造好適米＋夏そば
- b) 経営組織 組織経営体と個別経営体による効率的な営農の実現を図る。
- c) 作業体系（水稻） 耕起整地 → 基肥 → 植付 → 除草防除 → 収穫調整



2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分 区分	耕 地						原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他の 樹園地 (ha)	小計 (ha)					
農業用排水 施設整備	現 況	185.0	—	—	—	—	185.0	—	—	—	185.0	
	計 画	185.0	—	—	—	—	185.0	—	—	—	185.0	
計	現 況	185.0	—	—	—	—	185.0	—	—	—	185.0	
	計 画	185.0	—	—	—	—	185.0	—	—	—	185.0	

3. 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	作物名	1 年目												2 年目												3 年目												備考
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
農業用排水施設整備	現況	—	水田	水稻				○	△					×																											
				酒造好適米				○	△					×																											
				夏そば								○	—	×	×					同				左							同				左						
	計画	—	水田	水稻				○	△					×																											
				酒造好適米				○	△					×																											
				夏そば								○	—	×	×					同				左							同				左						

※「○：播種 △：定植 ×：収穫」

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地利用区分		作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増額の内訳 (t)		備考
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり 収量増加	
	農業用排水施設整備	水田	表作	水稻	110.6	110.6	-	63.3	63.3	529	529	-	585	585	-	-	
酒造好適米				32.2	32.2	-	18.4	18.4	447	447	-	144	144	-	-	-	
夏そば				12.8	12.8	-	7.3	7.3	49	49	-	6.3	6.3	-	-	-	
その他作目				19.2	19.2	-	11	11	-	-	-	-	-	-	-	-	
計			174.8	174.8	-	100	100										
合計			174.8	174.8	-	100	100										

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量(hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
農業用排水施設整備	水田	水稻	36.2	人 力	28.1	28.1	-	法人→法人
				機械力	12.1	12.1	-	区画面積20a
		水稻	9.0	人 力	40.1	28.1	△ 12.0	個別→法人
				機械力	18.5	12.1	△ 6.4	
		水稻	62.5	人 力	34.9	34.9	-	担い手→担い手
				機械力	15.7	15.7	-	
		水稻	2.1	人 力	40.1	34.9	△ 5.2	個別→担い手
				機械力	18.5	15.7	△ 2.8	
		水稻	0.8	人 力	40.1	40.1	-	個別→個別
				機械力	18.5	18.5	-	
		水稻	32.2	人 力	34.9	34.9	-	担い手→担い手
				機械力	15.7	15.7	-	
	計		142.8					
合 計		142.8						

6. 級地別土地利用区分

該当なし

7. 土地配分計画

該当なし

第3節 用水計画

1. 計画基準年

基準年 昭和29年（1/10確率）
決定理由 県営越路原地区農業用排水施設整備（かんがい排水「集積型」）事業（平成27年～平成30年）に準ずる。

2. 計画かんがい方式

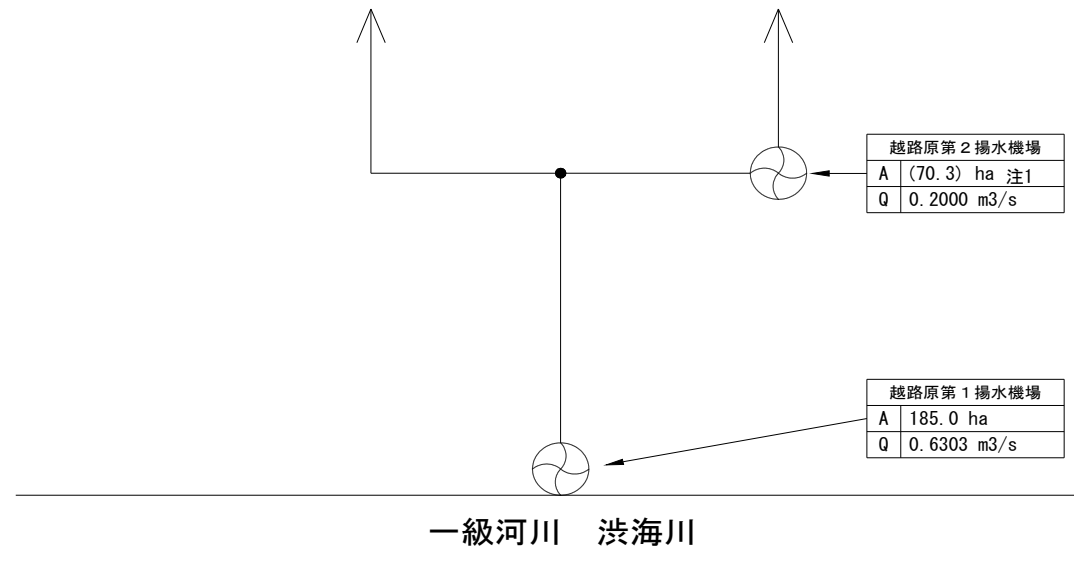
a) かんがい期間
水 田 : 4月1日～8月31日（計153日）

b) かんがい方式
水 稲 : 一筆毎の田面貯留方式

3. 計画用水系統

計画用水系統模式図のとおり。

計画用水系統模式図



凡例

施設名称	
A	受益面積 (ha)
Q	所要水量 (m ³ /s)

注1 受益面積（ ）は内数を示す。

4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)	水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費 水量 (m³/s)	損 失 率 (%)	粗用水量		備考	
		事業名	普通期		代かき期	面積 (ha)	一日 当 た り 計 画 平 均 かん 水 深 (mm/日)	平均 間 断 日 数 (日)	面積 (ha)	一日 当 た り 計 画 平 均 かん 水 深 (mm/日)	平均 間 断 日 数 (日)	面積 (ha)	単 位 計 画 平 均 水 量 (mm/日)			面積 (ha)	平均 (m³/s)		最大 (m³/s)
		農 業 用 排 水 施 設 整 備	単 位 計 画 平 均 水 量 (mm/日)	単 位 計 画 代 か き 水 量 (mm)															
一級河川 渋海川	農業 用水	185.0	21	150	185.0	—	—	—	—	—	—	—	—	0.4018	15	0.4727	0.4727		
計		185.0	21	150	185.0	—	—	—	—	—	—	—	—	0.4018	15	0.4727	0.4727		

(2) 営農飲雑用水

該当なし

5. 水源計画

(1) 水利用計画

該当なし

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

該当なし

(イ) 井堰及び自然取入口

該当なし

(ウ) 揚水機

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積(ha)		所要水量(m³/s)		揚水機				備考
		事業名	計	最大	平均	実揚程 (m)	揚水量 (m³/s)	台数 (台)	全揚水量 (m³/s)	
		農業用排水施設整備								
越路原第1揚水機場	一級河川 渋海川	185.0	185.0	0.6303	0.6303	152.0	0.6303	2	0.6303	
越路原第2揚水機場	一級河川 渋海川	(70.3)	(70.3)	0.2000	0.2000	34.4	0.2000	1	0.2000	

※受益面積()は内数を示す。

(エ) 用水路

該当なし

(オ) その他の水源施設

該当なし

(3) 水温水質

該当なし

第4節 排水計画

該当なし

第5節 道路計画

該当なし

第6節 農用地造成計画

該当なし

第 7 節 洪水調節計画

該当なし

第 8 節 干拓計画

該当なし

第 9 節 農用地整備計画

該当なし

第10節 老朽ため池改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

該当なし

2. 頭首工

該当なし

3. 揚水機

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m^3/s)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (kW)	台数 (台)	
越路原第1 揚水機場	長岡市 東谷荒瀬	0.6303	162.0	152.0	多段式 両吸込 渦巻	500/400	2	巻線型 高圧三 相誘導	675	2	
越路原第2 揚水機場	長岡市東谷 字大貝原	0.2000	36.0	34.4	両吸込 渦巻	300	1	高圧三 相誘導	110	1	

4. 用水路

該当なし

5. その他かんがい施設

該当なし

第2節 排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

該当なし

第4節 農用地造成

該当なし

第5節 洪水調節施設

該当なし

第6節 干拓施設

該当なし

第7節 農用地整備施設

該当なし

第8節 老朽ため池改修施設

該当なし

第6章 附帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1. 工期

着手予定 令和8年度

完了予定 令和12年度

第8章 環境と調和への配慮

工事には、低騒音、低振動、排出ガス対策等の環境配慮に適合した建設機械を採用する。また、長岡市景観アクションプランに基づき管理棟の基調色は周辺環境との調和を配慮し、推奨色を用いる。

第9章 換地計画の概要

該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

区分	事業名	農業用排水施設整備 (千円)	備考
	主要工事	696,149	令和7年度単価 内工事雑費11,602千円 内地方事務費21,547千円
	附帯工事	—	
	計	696,149	

(単位：千円)

事業名等	区分	工事費				工事雑費				地方事務費			
		国	県	市町村	地元	国	県	市町村	地元	国	県	市町村	地元
農業用排水施設整備	負担率	55.0%	27.5%	10.0%	7.5%	—	100.0%	—	—	—	100.0%	—	—
	負担金額	364,650	182,325	66,300	49,725	—	11,602	—	—	—	21,547	—	—
計	負担率	55.0%	27.5%	10.0%	7.5%	—	100.0%	—	—	—	100.0%	—	—
	負担金額	364,650	182,325	66,300	49,725	—	11,602	—	—	—	21,547	—	—

第11章 効用

(第27表)

事業名	項目	年総効果（便益）額 （千円）	現況年総農業所得額 （千円）	備考
	区分			
農業用排水施設整備	作物生産効果	103,597	—	総費用（現在価値化）＝1,870,841千円
	営農経費節減効果	22,177	—	総便益（現在価値化）＝2,333,295千円
	維持管理費節減効果	△ 25,584	—	総費用総便益比＝ $\frac{2,333,295}{1,870,841} = 1.24$
	国産農産物安定供給効果	15,966	—	総所得償還率＝ $\frac{3,855}{44,219} \times 100 = 8.8\%$
	計	116,156	44,219	令和7年度単価

第12章 関連する事業

該当なし

第13章 現況・計画図面

別紙図面のとおり。

令和8年度新規採択希望（着工地区）
農業用排水施設整備（かんがい排水「集積型」）事業

新潟県 越路原地区 計画一般図

縮尺 1/25,000

受益面積 185.0ha

一般県道山谷貝線

一般県道岩野塚山線

小千谷市受益面積
(41.5ha)

長岡市受益面積
(143.5ha)

②越路原第2揚水機場

①越路原第1揚水機場

国道404号

所在地：新潟県長岡市、小千谷市

位置図



凡 例

	河川
	国道
	一般県道または主要地方道
	鉄道
	計画施設
	現況開水路
	現況パイプライン
	受益区域